

第 362 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時： 2017 年 7 月 6 日 (木) 17 時 30 分～18 時 30 分

場 所： 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナー室

演 者： 松木直章 (動物診断リサーチ株式会社・取締役)

タイトル： 犬の自己免疫性脳炎の病態解析

壊死性髄膜脳炎 (necrotizing meningoencephalitis : NME) は、イヌでみられる代表的な自己免疫性脳炎である。パグやチワワをはじめとする小型犬に好発し、とくにパグで有病率・重症度が高いことからパグ脳炎 (Pug dog encephalitis) という異名もある。1～3 歳の若い犬で、大脳の灰白質に急性の炎症が発生し、炎症巣は次第に軟化・壊死する。症例は激しいてんかん発作や意識障害を起し、発症後数日で死亡することも少なくない。演者はこの破滅的な疾患を克服しようと病態解析を進めてきた。NME 罹患犬の脳脊髄液を解析したところ、すべての症例で星状膠細胞 (アストロサイト) のグリア線維性酸性タンパク質 (GFAP) に対する自己抗体が検出された。また、健康なパグ犬でも脳脊髄液中に GFAP が漏出しており、星状膠細胞の膜脆弱性が NME の病因のひとつであると考えられた。さらに、症例の脳脊髄液中にトランスグルタミナーゼ 2 (または 6) に対する自己抗体が発見され、ヒトのセリアック病 (小麦不耐性) における脳症と類似した病態である可能性が示された。

略歴

1991 年 3 月 東京大学農学部獣医学科卒業
1993 年 4 月 東京大学農学部助手
1996 年 4 月 東京大学大学院農学生命科学研究科助手
2003 年 1 月 同・助教授
2007 年 4 月 同・准教授
2012 年 4 月 同・教授
2017 年 6 月 同・教授を早期退職
2017 年 7 月 現職

担当：硬組織疾患制御再建学講座 高橋 直之